

むーらん



1月12日（土）

はじめてセルフ式の給油をやってみる。今まではガソリンに触れるなんて怖くて、店の人に入れてもらえるガソリンスタンドばかり利用して、自分でやってみようなんてすこしも思わなかった。だけど、いつも行っているスタンドはもうすぐ閉めてしまうらしい。だから、私の伯父さんの働くスタンドで、教えてもらいながら、今日はじめて給油をやってみた。思っていたよりも、ほんとうに簡単で、気をつけてやれば、そんなに危険でもなかった。こんなに簡単なら、もっと早くやっておけばよかったな。

1月15日（火）

昨夜、母から電話がかかってきた。実家に住んでいるねこが外に行ったまま、夜遅くになっても帰ってこないらしい。

「どこにいったんやろ。どこかに閉じ込められて、出てこられへんのかな」と私。今日も心配で「ねこ、帰ってきた？」と母に何度も連絡するが、

「まだ、帰ってきてへん。帰ってこおへんでも、しょうがないわ」母はなんだか冷静で、そんなに心配じゃないのかな...？

ところが今夜、母から電話があつて、「ねこ、今帰ってきた...」それだけ言って泣いている。ほんとうは、私なんかより、ずっと心配していたのだろう。

1月18日（金）

工作中、部長室から声がして、

「課長の頭から血が出てるから、ちょっと見てやって！」びっくりして、あわてて部長室に入ると、隣の課の課長が恥ずかしそうに座っている。よく聞いてみると、ちょっとおでこを掻いたらすこしだけ血が出たらしい。声の感じから、何か怪我でもして、血がどぼっと出たのかと思って、ほんとうにびっくりしたのだが...

2月6日（水）

市を紹介する英語のパンフレットが部長室に置いてあった。

「興味があるのだったら、貸してあげるから、ゆっくり見るといいよ」と部長。それから、ずいぶん時間が経ってしまい、返さなければと思いながら、今まできてしまった。そうしたら、今日、部長から「そろそろ、あのパンフレット...。他の人にも貸してあげたいから」と言われてしまう。今まで借りたままにしていた理由をなんと説明しよう？そんなふうにして、先延ばしにすることが多いように思う。今回のことに限らず。あれこれ考えずに、すぐに行動すればよかったのに。

2月21日（木）

今日は「ねこの日」の前日で、スーパーでねこのおやつを安売りしていた。これ、おいしそうだから家で待っているうちの子に買って帰ろう。きっと喜んで食べてくれるだろう。ところが、私のさしだしたおやつを、ねこはふん、ふんと2、3度匂いをかいだあと、向こうへ行ってしまった。せっかく買ってきたのに...。だけど、自分の感情ですら自由にできないのに、ましてや、他人（猫）である彼女の好き

嫌いなんてどうすることもできない。

3月14日（木）

和歌山県の白浜へ1泊旅行へ。ここの動物園はパンダの家族が大人気。パンダを見たあと、サファリパーク内（もちろん草食動物エリア）も歩いてみたが、パンダの場所に比べると、ここはあまりお客さんがいないなあ。すると、1台のトラックが、角のある動物の群れに近づいてきて停まり、飼育員の人が重そうな袋を抱え、降りてきた。動物たちもごはんの時間なんやなー。パンダやイルカに比べると目立たないけれど、動物園を支えるために、それぞれの役割を果たしている人がいる。

3月15日（金）

好きな歌手のコンサートがあり、久しぶりに京都のライブハウスへ。ひとりで行くのはすこし勇気が必要だった（ほんとうは勇気なんて必要なくて、目的を果たすために、ただ行けばいいだけなのだが）。でも、待っている時間、同じテーブルについた人の、誰からともなく話が始まり、私も仲間に入ることができた。隣の女性とも、初対面なのに「このあいだは東京まで聴きにいったのですよ」「いいですね。私も行きたかったな」なんて会話を楽しむことができた。同じ歌手が好きな人ばかりだったから。そんなわけで、待ち時間も含め、楽しいコンサートだった。

3月23日（土）

何気なく洗濯機の中を覗いたら、ねこがきょとんとした顔でこちらを見ている。きゃー、たいへん！ねこを閉じ込めていた！ごめんねー、と言いながらあわててねこを出す。まさか、こんなところにねこが入っているはずはないと思い込んでいるから、何の注意もせず、なんとなく扉を閉めてしまっていたようだ。ごめんね、あなたを洗濯機で洗うつもりなんてなかったからね。

 [目次へ戻る](#)